

小山三中コミュニティ・スクール通信

2021年3月1日 小山第三中学校学校運営協議会（コミュニティ・スクール）発行 第1号

コミュニティ・スクール(CS)とは

コミュニティ・スクール(CS)は、学校と保護者や地域の皆さんがともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、一緒に協働しながら子供たちの豊かな成長を支え、「地域とともにある学校づくり」を進める法律(地教行法第47条の5)に基づいた仕組みです。

小山三中では平成27年度に小山市教育委員会の指定を受けて導入されました。これまでの成果として、ミシンボランティアや図書館ボランティアの導入、樹木伐採、顕彰板の設置、高齢者とのふれあい交流事業などを導入して学校の活動を支えてもらったり、学校評価を分析して、改善のための提言を行ったりしてきました。今年度は、感染症防止のためできなかった活動もありますが、様々な意見を出し合い、「地域とともにある学校づくり」を目指して話し合いや活動を行っています。



令和2年度コミュニティ・スクール組織

会長	(前PTA会長)
副会長	(地域コーディネーター)
委員	(前自治会長)
委員	(小山第三中学校を支援する会)
委員	(学識経験者)
委員	(PTA会長)
委員	(図書館ボランティア)
委員	(小山三中校長)

今年度の学校運営協議会で話し合った主な内容

第1回会議内容(7月6日)

- 昨年度の協議事項の確認
- 感染症対策と授業時数の説明
 - ・消毒を徹底している。また、取組の様子はホームページでも紹介していく。
 - ・給食は全員が前向きで食べている。
 - ・毎日6時間授業を実施。学校行事の削減や縮小によって授業時数がある程度確保できた。
- 学校(体育館)の雨漏りについて
 - ・市政懇談会でも取りあげてもらおうよう自治会としても要望する。
- 部活動賛助会費について
 - ・地域によって集め方など様々である。城東小や大谷北小とで連携しながら改善を図ってきたい。
- 3年生の部活動について
 - ・市の中学校長会では引退試合という形で実施を考えている。
- コミュニティ・スクールの活動について
 - ・CSとしての年間の活動で達成したい目標や提案を決めると良い。

第2回会議内容(9月24日)

- 感染症対策について
 - ・生徒ができる消毒は生徒がやっている。
- 運動会について
 - ・密になることを避けながら半日で実施した。
 - ・三中の学校規模では保護者の参観は難しい。
 - ・WBG T(暑さ指数)を考慮しながら実施した。
- 修学旅行について
 - ・宿泊場所の分散なども検討したが、三中規模では、京都・奈良に行くとした場合、12月しか宿が取れない。保護者アンケートの結果からも、京都・奈良は中止とし、那須への日帰りとした。
- 学校評価について
 - ・昨年度の評価結果をみると肯定的な意見が多かったが、よりよい学校を目指すためには、質問内容の検討をする必要もあるのではないかと。
 - ・保護者の学校行事や授業の参観等もない中での評価は難しい面もある。
- 外国籍生徒の入試サポートについて
 - ・市でも宇都宮大学のプログラムを活用して活動を考えている。

第3回会議内容（12月15日）

- 学校評価（生徒・保護者）について
 - ・三中の生徒でよかった。子どもを三中に通わせてよかった。の肯定的意見が90%というのは素晴らしいが、少数の意見にも声を傾けてさらに良い学校にしてほしい。
 - ・コロナの影響で、保護者の学校を知る機会が少なかった。来年度は、工夫してほしい。
 - ・あいさつについては、学校と家庭で、また部活動によって違いがある。学校と家庭が連携して取り組んでいく必要がある。
 - ・通知を子どもが保護者に渡していない。重要な通知の時はメールでも知らせると良い。保護者が子どもにも聞くことも大切である。
 - ・学校休業中の学習や課題について、もう少し詳しく方法を教えてほしいと言った意見があったが、今後は生徒用タブレットが導入されるので活用を図っていききたい。
- 感染症対策について
 - ・三中は水道の数が少なかったが、年度初めに市に要望を出したところ、3年生の廊下に水道が設置された。（ホームページでも紹介した。）
 - ・換気のため、教室の対角線になる窓を常時開けている。そのため、ウィンドブレイカーを授業中も着て良いことにしている。また、ストーブの給油日も増やした。
 - ・駅伝大会は、3年生の保護者1名の応援を市の担当部局と話し合い許可を得た。卒業式も、保護者1名の参加を考えている。
- 後援会賛助会の集金方法について
 - ・三中学区の小中学校3校で揃えられるところは揃えた方が良いが、自治会や地域によって集める方法や人も違うため、まずは、通知を3校連名で出したらどうだろうか。
 - ・賛同いただける方に名前を書いてもらい、その方だけから集金している地区もある。

第4回会議内容（2月16日）

- 学校評価（教職員を含めた）について
 - ・多くの質問で生徒が最も良い評価をしている。保護者の評価が低いのは、感染症対策で学校の様子が見えなかったのが大きいのではないが。教員の評価で一部の項目で厳しいのは、三中の生徒はもっとできるという期待もあるのではないか。
 - ・少数でもマイナス評価をしている生徒に目を向け、孤立化しないよう意識しながら対応してほしい。
- 次年度の学校経営方針について
 - ・多くは今まで築きあげてきたものを踏襲している。また、今日的な課題として、不登校、いじめ、グローバル化、感染症などへの対応を図っていききたい。
- 新学習指導要領について
 - ・評価の観点が変わる。今までやってきたことを大切にしながら「主体的・対話的で深い学び」の授業形態に努める。
- 学校運営協議会の今後の活動について
 - ・小学校では清掃ボランティアを立ち上げた。三支会（小山第三中学校を支援する会）も動いたり、地域コーディネーターも調整するので学校の要望を出してほしい。
- 学校行事について
 - ・猛暑の影響で、来年度は多くの中学校が運動会を春に予定している。本校も5月の平日に実施予定である。修学旅行は現在6月を予定しているが秋への変更もありえる。
 - ・今後も感染症対策を行いながら、生徒が充実感をもてる活動を行ってほしい。
- その他
 - ・学校の様子が見えないという意見については、授業参観を3日間に分けることで、密を避けて行う予定である。

令和2年度の活動内容



- ・顕彰板を書いてくださる方を紹介しました。



- ・大谷地区社会福祉協議会から、パンジーとビオラの苗をいただきました。



- ・体育館の雨漏りについては市政懇談会でも取りあげてもらいました。（写真は昨年9月の台風19号の様子）